

# 青少年のための科学の祭典2019徳島大会 「ある」のに「ない」？不思議なマジカルウォールを作ろう！ 実施報告

常三島技術部門

情報システムグループ\*

ものづくりグループ\*\*

管理運営グループ\*\*\*

地域協働グループ\*\*\*\*

横山 智弘 (YOKOYAMA Tomohiro)\*

宮本 康平 (MIYAMOTO Kohei)\*\*

紀之定 和代 (KINOSADA Kazuyo)\*\*\*

齊原 啓夫 (SAIHARA Hiroo)\*

井上 久美子 (INOUE Kumiko)\*\*\*

酒井 仁美 (SAKAI Hitomi)\*\*\*\*

## 1. はじめに

徳島大学大学院社会産業理工学研究部総合技術センターの地域貢献事業の一環として、青少年のための科学の祭典2019徳島大会において「ある」のに「ない」？不思議なマジカルウォールを作ろう！を出展したので、報告する（図1）。



図1 当日の様子

## 2. 開催日及び会場について

開催日：令和元年11月23日（土）10:00-16:00

場所：阿南市科学センター

## 3. 実施内容

目には見えないが、格子状の軸を平行に持ち、特定方向のみの光を通す偏光シートを組み合わせることで、中央に黒い壁が見えるが、そこにストローを通して壁にぶつかることなく貫通する不思議な箱（図2）を作成してもらった。また、作品は作りやすさと安全性を考慮して偏光シートを貼り付ける窓枠は予め切り抜いておいた。



図2 マジカルウォールの完成品

## 4. まとめ

当ブース体験者数は、138名で、低学年から高学年まで幅広い年齢層の方々に体験してもらうことができた。作品完成後、実際に見える黒い壁にストローを通すと壁を通り抜ける様子に、体験者のみならず保護者の方からも驚きの反応があった。

また、偏光板について過去に類似のイベントにて出展されていたブースで使用されていたことからすでに知っていた体験者もあり、このようなイベントが科学への知識や関心を得るきっかけとなる重要な場であることを改めて感じさせられた。

## 謝辞

会場設営及び広報活動にご尽力いただきました「青少年のための科学の祭典」徳島大会実行委員会の皆様にお礼申し上げます。